

暁木会会員 各位

平成 17 年 3 月 吉日
神戸大学 暁木会

平素は、暁木会の活動に、ご支援とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、このたび暁木会ニュース第 8 号として、「平成 16 年度総会のご案内」、「暁木会年会費 納入手続状況」のお知らせと「平成 16 年度版 暁木会会員名簿発行」の報告と御礼を申し上げ、朝倉康夫郎教授に「神戸大学の近況」を寄稿して戴きました。また、今年 3 月末日に退職されます川谷健先生・北村泰寿両先生の定年退職記念事業の案内を致します。

不行き届きな点多々あるかと思いますが、ご容赦をお願いしますとともに、意見等ございましたら、事務局までご連絡くださいますようお願い致します。

1. 暁木会平成 16 年度総会の開催について

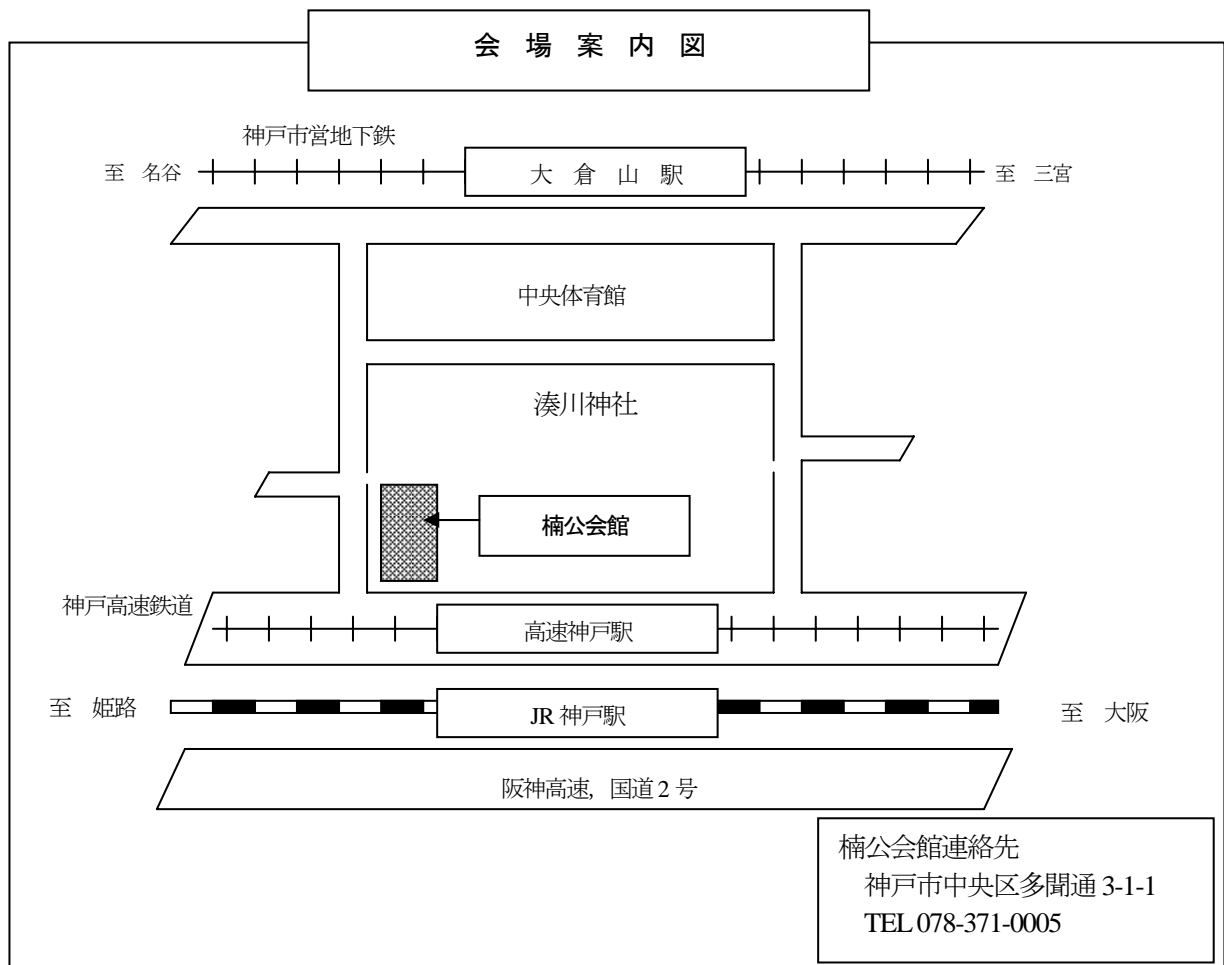
平成 16 年度総会を下記のとおり開催いたしますので、ご多忙の折とは存じますが、何卒ご出席の程よろしくお願い致します。

■日 時 平成 16 年 3 月 24 日（木）午後 6 時～午後 7 時

■場 所 湊川神社 楠公会館

（最寄駅は、JR 神戸駅、高速神戸駅、または地下鉄大倉山駅）

■その他 総会終了後、同会館内で懇親会を開催しますので、あわせてご出席いただくようお願い致します。なお、会費（会費 5 千円）は当日徴収いたします。



2.暁木会年会費 納入手続状況の報告

平成 16 年度から導入いたしました暁木会年会費につきましては、会員の皆様のご理解いただき、多数お申込をして戴きまして、ありがとうございました。

昨年度末では 630 人でありました年会費納入申し込み状況は、現在約 850 人の会員方々に申し込み頂いております。更に現在も若干名ではありますが申し込みを戴き、増加している状況にあります。

クラス幹事の皆様ならびに職場班世話役の方々のご尽力に感謝申し上げます。今後もこれ等の方々のご協力を戴きながら、努力をして行きたいと考えています。

会員の皆様の中で、まだ申込をされていない方は年会費制導入の趣旨をご理解いただき、手続きをして下さいますようお願い致します。また、まだ申込をされていない会員をご存じの方は、手続きの勧誘をして戴きますようお願い申し上げます。

※振替登録書の紛失やご不明な点等がありましたら、下記事務局にお問い合わせ下さい。

暁木会事務局；協和設計株式会社
〒567-0877 大阪府茨木市丑寅 2-1-34
設計部 坪本正彦
Tel 072-627-9351, Fax. 072-627-9350
E-mail ; tsubomoto@kyowask.co.jp

〒650-0042 神戸市中央区波止場町 3-4
神戸支店営業推進部 藤原政毅
Tel. 078-393-2011, Fax. 078-393-2012
E-mail ; fujiwara@kyowask.co.jp

3.平成 16 年度版 暁木会会員名簿発行

平成 16 年 12 月に平成 16 年度版暁木会会員名簿を発行いたしました。

無事発行できましたのは、会員各位、名簿編集委員各位、ならびに広告賛同企業のご協力を戴いた成果であります。この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

4.川谷・北村両先生定年退職記念事業会

実行委員長 黒田勝彦

都市安全研究センター・川谷 健教授、工学部建設学科北村泰寿教授におかれましては、神戸大学の定めにより平成 17 年 3 月 31 日をもって、神戸大学を定年退職されることになりました。

川谷 健先生におかれましては 33 年、北村泰寿先生におかれましては 38 年の長きにわたり、神戸大学において研究・教育、さらに学会・社会において多大の貢献をされてまいりました。

このような両先生のご活躍とご功績を称えるとともに、あわせて両先生のご薫陶を受けた者が相集い先生に感謝の意を表すべく定年退職記念事業を企画致しました。

つきましては、この趣旨にご賛同いただき、本記念事業にご参加・ご協力下さいますようお願い申し上げます。趣旨にご賛同いただけましたら、下記振込み口座に会費を予めお振込み下さいますようお願い申し上げます。

1.記念講演・祝賀会

- ・日 時 平成 17 年 5 月 28 日 (土) 11 時～
- ・場 所 相楽園
(神戸市中央区中山手通 5-3-1 Tel078-341-1191)
- ・会 費 1 万 2 千円 (同伴者 7 千円, 学生 5 千円)

2.記念品贈呈

3.記念講演会・祝賀会 CD 作成

なお、記念講演会・祝賀会にご出席なれない方には、記念 CD を送付させていただきます。

醸金額 一口 5 千円

☆振込先

- ・大阪西郵便局
振替口座番号 00960-2-167485
口座名 川谷・北村教授定年退職記念事業会
または
 - ・三井住友銀行 立売堀支店
口座番号 123-1329635
口座名 川谷・北村教授定年退職記念事業会
中西治嘉
- ☆振込期限 平成 17 年 4 月 30 日 (土)

問合せ先 神戸大学都市安全研究センター
市成準一 Tel 078-803-6064

3. 神戸大学の近況報告

全学ならびに工学部の情勢

2004年4月1日から、神戸大学は国立大学法人となりました。組織としてのポリシーと目標を明確に打ち出し、その下で成果を挙げることでできる大学だけが生き残ることができるシステムに移行したとも言えます。研究のための予算を各教員が競争して獲得するのは当然であるとしても、従来の校費と呼ばれる予算の学部・学科への配分は想像以上に厳しく、学生の教育に対する経費も削減されるという状況にあります。教育の質を落とすわけにはいかないので、大学が苦手としてきたコスト管理を徹底するしかなさそうです。

大学組織がなじんできた「従来通り」という考え方が意味をなさなくなっている中で、神戸大学としての存在意義を問われている時代です。学部や大学院の運営に関する意思決定も、教授会というある種フラットなシステムから、執行部を中心とする運営会議や代議員会というコンパクトな組織に重きが置かれるようになりました。この傾向はますます強くなると思いますが、マネジメントに対する個々の教員の責任が軽くなったわけではなく、より柔軟な思考力・迅速な判断力が求められるようになったということでしょう。

組織運営に関しては明らかに一日の長がある一般企業の方々のお知恵をいただかないといけないケースが出てくるものと思われまます。これまで以上に暁木会の皆様のご協力をお願いする次第です。

土木系教室の近況

2004年は、建設学科(土木工学コース)に土木学会の受賞が相次ぎました。まず、5月には、「貯水池の有機汚濁と深水層における逆転水温層・高塩分水塊の消長について」という題目で、道奥康治教授と神田徹名誉教授が土木学会論文賞を受賞されました。学術的な意味で学会賞の最高峰である論文賞を両先生が受賞されたことは、土木系教室として極めて喜ばしく、誇るべきできごとでした。

土木学会は平成2004年11月に創立90周年を迎えたのですが、これを記念した事業のひとつに「創立90周年記念・懸賞論文」の募集がありました。その最優秀賞(高校・高専・大学の部)に、建設学科(土木工学コース)3回生の赤井朋子さんの論文「豊かさを考える」が選ばれました。全国から応募があった中で1名の最優秀賞であり、本学学生の優秀さを広く知っていただける機会になりました。

学部学生の教育に関する最近の動きのひとつとして、昨年度の暁木会ニュースでも紹介されているように、

JABEE(Japan Accreditation Board for Engineering Education, 日本技術者教育認定機構)による技術者教育プログラム認定に向けての準備を進めていることが挙げられます。JABEE認定は、土木工学に関する教育活動の品質や、技術者として必要な最低限の知識と能力養成の成果を認定するもので、授業カリキュラムや試験内容など詳細な項目が審査の対象となるため、周知な準備が求められています。

教育の質を向上させるために、FD(Faculty Development)活動を進めています。FDの一環として、土木工学コース独自の学生アンケートを実施し、個々の科目・教員に対する学生からの授業評価を継続的に行ってきています。それに加えて、2004年度の前期からは、ピアレビューと称して、教員が教員の授業を互いに参観するという試みを工学部の先頭を切って開始しました。参観した教員からのレポートを見ることで自分の講義の改善点を知るだけでなく、他の教員の授業を見ることで気がつくことも少なくありません。ただ、学生の態度が予想以上に悪く、そちらの改善の方法も考えないといけなようです。

国際化という面でのひとつのニュースは、藤田主任と芥川助教授のご尽力により、「台湾中央大学」との合同研究発表会を開催したことが挙げられます。先方から教員と学生、計20名が来学され、本学の土木工学コースの学部学生・院生と一緒に発表会を行いました。学生諸兄は、大丈夫か?と思われた英語でのプレゼンテーションも意外と上手にこなし、懇親会でも打ち解けた雰囲気でした。2005年はこちらから出かけて行くという話も出てきており、今後の展開が楽しみです。

大学院に関しては暁木会の皆様方に2つのお願いがあります。ひとつは、博士前期課程(いわゆるマスターコース)入試の受験者数・入学者数を増やしたいということです。学内からの受験者を増やすことは当然ですが、他大学出身者には推薦入試を実施しています。皆様のお近くに神戸大学以外の学部学生がおられましたら、是非とも推薦入試をご案内ください。

もうひとつは、博士後期課程(ドクターコース)への入学者を増やしたいということです。一般企業にお勤めの方、公務員の方でも在職のまま入学いただけます。3年在学しなくても修了できる早期修了という制度もあります。経済的な面でのサポートも用意しています。皆様ご自身、またはお近くに関心のある方がおられましたら、「博士か・・・」と遠慮されることなく、ご検討くださいますようお願いいたします。

研究・教育の幅広い面で、暁木会の皆様のお力添えを賜りたいと存じます。一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。